

## 2 店舗で改善する

### 多様に消費エネルギー削減

イズミでは店舗運営のさまざまな場面で、環境負荷の低減に取り組んでいます。例えば物流センターから店舗への商品配送。積み込む荷物を見直して効率をよくしたり、段ボール箱の代わりに繰り返し使える「通い箱」を使ったりと、日々の業務の中で地道な努力をしています。食品売場

では魚のあらや野菜くず、廃油などを分別管理し、ごみとして捨てられていたものを肥料に再生。資源として有効利用しています。従業員の意識を変えることも欠かせません。クールビズに取り組んだり、店舗の消費電力に注意を払ったりして、環境保全への意欲を高めています。



節電型の冷凍食品ショーケース

### 一元管理の冷蔵・冷凍ケース

食品の冷蔵ショーケース・冷凍ショーケースは、おいしさと品質を守る大切な役割があります。イズミでは、消費電力を抑えつつ、適切な庫内温度を保つために「インバーターエコシステム」を採用。一元管理で全てのショーケースの庫内温度を監視し、常に最適運転を行うことで消費エネルギーを抑制しています。



見やすい陳列と省エネを両立



野菜の鮮度を守る冷蔵ケース



冷凍食品の品温をキープ

### 意識付けに有効「見える化」

「ゆめタウン廿日市」では、太陽光発電の発電状況やリサイクル情報をお知らせするエコステーションを設置しています。「見える化(可視化)」で、お客さまに環境問題保全に関心を持っていただければと考えました。イズミ本社でもリアルタイムで消費電力量などが見られるパネルを設置し、従業員の意識付けを行っています。



「ゆめタウン廿日市」のエコステーション



イズミ本社のパネル

### 商品配送でも省資源活動

運輸部門の消費エネルギー削減も推進しています。2015年に完成した「イズミ広島物流センター」(広島市西区)に4つの配送センターを統合、ドライ商品とチルド商品を同じ車両で運ぶことにより輸送車台数を大幅に削減できました。従業員は繰り返し使えるプラスチック製の折りたたみコンテナ「通い箱」を活用し、省資源に努めています。



「イズミ広島物流センター」

### 食品廃棄物を再生

魚のあらや廃油、野菜くずなどの食品廃棄物を分別管理し、リサイクルに努めています。2016年度は40.1%(3,382t)が再利用されました。熊本県内の店舗では、専門業者の株式会社熊本清掃社様に委託。食品廃棄物は肥料に再生され、田畑で使われています。廃油は福岡県の株式会社フチガミ様で、バイオディーゼル燃料に生まれ変わっています。



食品リサイクルの(株)熊本清掃社様

(株)フチガミ様に廃油再生を委託

### 「クールシェア」で夏の節電

公共施設や小売店などで過ごすことで、ご家庭のクーラーを消して節電につながる運動が「クールシェア」です。イズミは2012年から参加し、2016年は広島県内の31店舗が協力店として登録。割引クーポンを発行し、お客さまにアピールしました。



50円引きのクーポンを発行



「クールビズ」特設売場

### 空調のエコにクールビズ

「クールビズ」は、涼しい衣類を着用して冷房の設定温度を上げる取り組みです。イズミ社員も実践し、夏期は上着、ネクタイなしで業務を行っています。店舗では「クールビズ」コーナーで、お客さまに機能的でおしゃれな衣類をご提案。冬には暖房の設定温度を下げる「ウォームビズ」の浸透へ、温かい肌着などを展開しています。

### 電気自動車の充電スポット

次世代の自動車として、期待が集まる電気自動車。外出先で充電が必要になるケースもあり、各地で充電スポットの整備が進められています。イズミでは公共性の高い店舗を運営する立場から「ゆめタウン光の森」「ゆめタウン博多」「ゆめタウン高松」「ゆめタウン廿日市」「ゆめタウン徳山」などに設置しています。



「ゆめタウン徳山」の充電スポット